

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・通年・必修
	対象学科・専攻	土木工学科
卒業研究 (Graduation Research)	担当教員	土木工学科教員
	教員室	
	E-Mail	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実験・実習 / 履修単位 / 9単位	
週あたりの学習時間と回数	前期：300分×15回，後期：600分×15回	
〔本科目の目標〕 土木工学科に関する研究題目について実験・研究を行い、その結果を卒業研究発表会で発表し、卒業研究報告書にまとめる。一連の研究過程を実際に経験し、諸問題を解決する能力や土木工学に関する技術者・研究者となるための能力を養う。これらを通じて以下の項目を習得する。 1. 技術者として社会への貢献と責任。 2. 自主的に計画・立案し継続的に学習を行う能力。 3. 論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力。 4. 研究成果を論文としてまとめ記述する能力。		
〔本科目の位置付け〕 卒業研究の題目により重点的に必要となる科目は異なるが、1年次から5年次までの全授業科目が関連する。		
〔学習上の留意点〕 各研究課題の割振りは年度開始時に通知する。教員の指示を待たず、各自独力で研究を計画的に進めること。研究課題によっては、正課の時間外に行うこともある。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
(疋田) 土石流、都市水害、水辺環境 (内容) 橋梁の動的応答特性 (岡林) 土の土質力学的性質 (西留) 環境工学、衛生工学 (前野) 廃棄物工学、材料工学 (堤) 材料力学、岩盤力学 (山内) 環境工学、廃棄物工学 (内田) 国土計画、都市計画、土地利用計画 (池田) 材料学、土木材料、コンクリート工学 (山田) 環境工学、廃棄物工学		技術者として社会への貢献と責任を理解する。 自主的に計画・立案し継続的に学習を行う能力を養う 論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力をつける 研究成果を論文としてまとめ記述する能力を養う。
〔教科書〕 各担当教員から適時指示する		
〔参考書・補助教材〕		
〔成績評価の基準〕 卒業研究中の態度(60%)、前刷や論文のまとめ方(20%)、研究発表会(20%)などを総合して評価する		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-b, 2-a, 3-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 2-2, 3-2, 3-3		
〔JABEEとの関連〕 (c), (d)(2)b), (g), (h)		